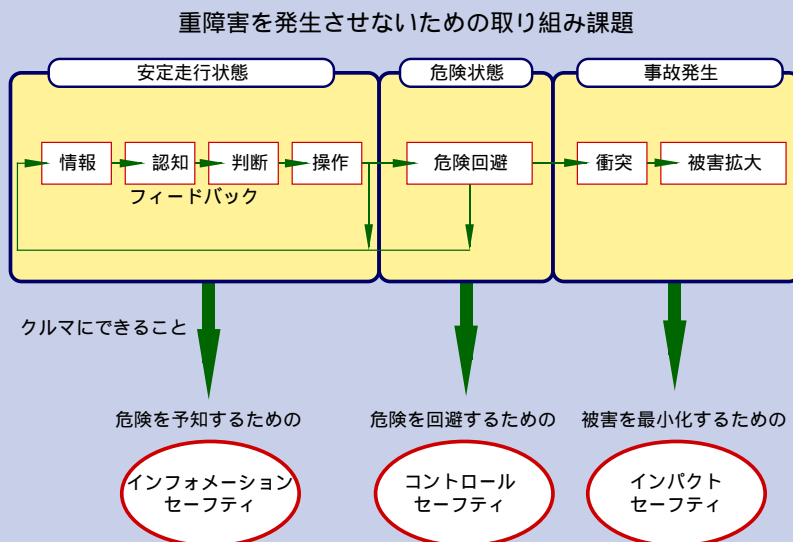


トリプルセーフティ：安全の3つの砦

安全なクルマづくりの視点

日産自動車では、人とクルマの関わりに基づいた新しい安全思想「トリプルセーフティ(安全の3つの砦)」を構築しました。これは事故の被害発生に至るまでのプロセスを人とクルマの関わりから分析し、「危険の予知」、「危険の回避」、「被害の最小化」の3つの安全の砦を設け、クルマの基本性能の向上をベースとしてそれぞれの砦の守りを充実させることにより、更なる安全性向上を目指していこうというクルマづくりの考え方です。



事故分析を基にした安全技術の開発

交通事故の減少と交通事故による被害の軽減を図ることは、自動車メーカーの社会的責任の一つと考えています。日産では新しい安全思想「トリプルセーフティ(安全の3つの砦)」に基づき、積極的に安全技術開発を進めていますが、その中で事故分析は安全開発の第一歩と捉えています。効果的な対策を実施するためには、事故の実態及び原因を的確につかみ、徹底的に現象を解明した上で、これを基礎とした技術開発を進めることが不可欠です。このため日産では国内のみに限らず、米国、欧州及び主要輸出国の事故データを入手分析し、安全開発に役立てています。

最近の国内事故データからの課題

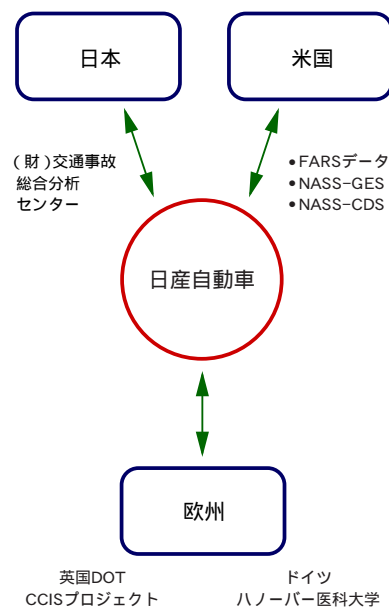
国内の交通事故死者数は、88年に1万人を超え、それ以降高い状態で推移しています。

96年によようやく1万人を割ることができましたが、この間の変化を良く見ると、'92年以降徐々にではありますが、死者数は減っていることがわかります。一方、事故件数の方はこの間も単調に増加を続けております。このことから事故を起こした場合に死に至る確率は確実に減少していることが判ります。この一因として、衝突時の安全技術の充実があげられます。日産ではゾーンボディやSRSエアバッグの採用に積極的に取り組んできました。

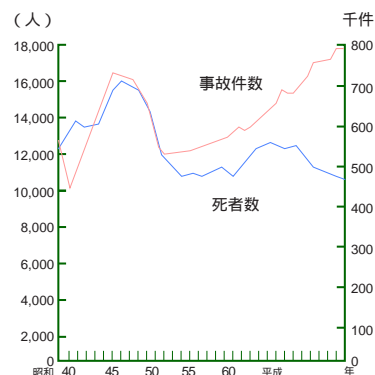
このような国内の事故の状況から、今後重点的に取り組まなければならないのは、事故件数の削減です。日産はこの点に着眼し、事故発生に至るプロセスから、クルマとして何ができるかを考えてみました。

ここが日産の新しい安全思想「トリプルセーフティ」が生まれる原点になっているのです。

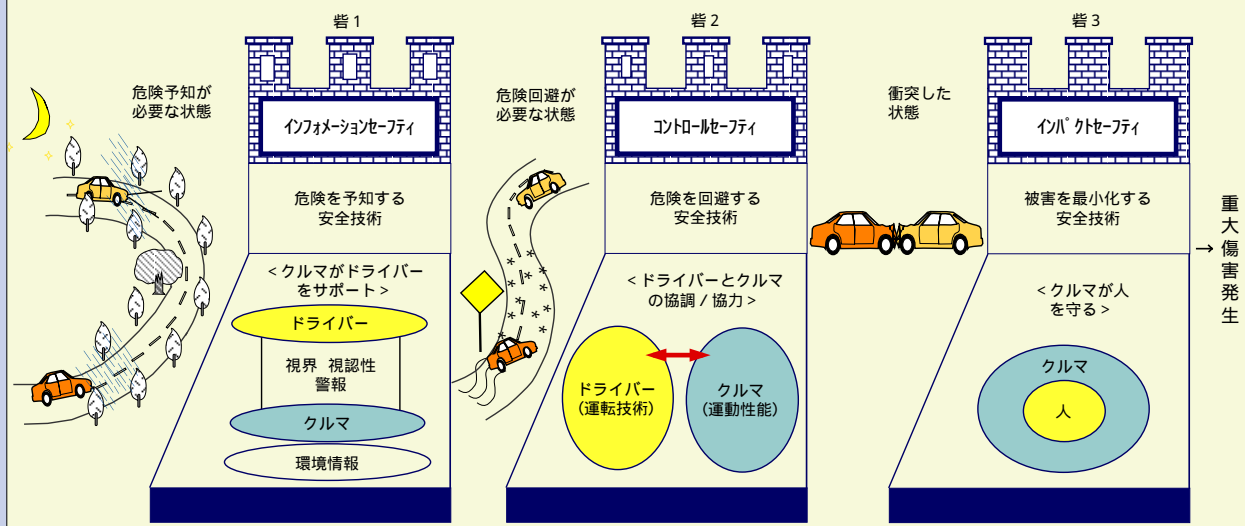
日産自動車の事故データ入手先



日本の交通事故件数及び死者数の推移



トリプルセーフティは、第一の砦:危険を予知するための「インフォメーションセーフティ」、第二の砦:危険を回避するための「コントロールセーフティ」、第三の砦:被害を最小化するための「インパクトセーフティ」より構成されます。



インフォメーションセーフティ

- 安全運転のために必要な情報の約90%は目から得られます。このため、視界を中心にドライバーに有効な情報を提供し、周囲の状況の認知・判断をサポートするのがインフォメーションセーフティです。

● 技術例:

キセノンヘッドランプ
 C.S.Rヘッドランプ
 最適配光ヘッドランプ
 ハイマウントストップランプ
 フォグランプ
 コーナリングランプ
 ロングライフ撥水ガラス
 後方モニター
 広角ドアミラー
 チタンクリアドアミラー
 リヤアンダーミラー
 ヒーター付ドアミラー
 オートリフレックスミラー
 車両距離レーダー

コントロールセーフティ

- 危険な状態を避け、事故を未然に防ぐにはドライバーが思い通りにクルマを操作できることが大切です。ドライバーの事故回避操作を確実にクルマのコントロールに移し、危険な状態を回避するのがコントロールセーフティです。

● 技術例:

ブレーキアシスト
 ABS(アンチロックブレーキシステム)
 新開発横滑り防止装置
 (VDC:Vehicle Dynamics Control)
 スーパーハイキャス
 プロポーションングバルブ
 電子制御制動力配分システム
 (EBD:Electronic Brake Force
 Distribution System)

インパクトセーフティ

- 万一の事故の際には、クルマが人を守らなければなりません。衝突時の自車の乗員および相手の被害、さらには衝突後の被害拡大を抑え、事故発生時の人に対する被害を最小化するのがインパクトセーフティです。

● 技術例:

ゾーンボディ
 SRSデュアルエアバッグ
 SRSサイドエアバッグ(頭部+胸部)
 ロードリミッター付プリテンショナー
 シートベルト
 チャイルドシート固定機構付シート
 ベルト
 サイドドアビーム
 フロント合わせガラス
 フードの侵入防止構造
 コラプシブルステアリング
 衝撃吸収インストルメントパネル
 内装の難燃化
 段差付ドアヘム
 可倒式ドアミラー
 可倒式フードマスコット
 耐水タイプパワーウインドウスイッチ